

### 3 演習事例（演習解答付き）

受講者テキストで各作業別の「リスクアセスメント一覧表」は、受講者に考えてもらう部分は空欄としている。講師用は以下にあるとおり、解答例として空欄の部分を記載したものを掲載し、講師の参考としているので、演習後解答例のあるものを配付する

#### (1) アーク溶接作業

① 作業名 (機械・設備)		② 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害		③ 既存の災害防止対策		④ リスクの見積り		⑤ リスク低減措置案		⑥ 措置実施後のリスクの見積り		⑦ 対応措置		⑧ 備考	
						重篤度	発生可能性	重篤度	発生可能性	重篤度	発生可能性	重篤度	発生可能性	重篤度	発生可能性
アーク溶接作業	溶接中に誘起するヒュームの吸入によって、じん肺を発生する。	防じんマスクの着用の徹底 全体換気装置による換気	×	△	III	△	○	①全体換気装置又は局所排気装置の設置及び点検の徹底 ②防じんマスクのフィッティングテストによる漏れの防止 ③防じんマスクの取替え時期を決定	△	○	△	○	作業前ミーティングで措置の徹底を確認 リスク低減措置を社内標準として明文化する。	残留リスクであり 貼り紙で担当者全員に毎日周知	
アーク溶接作業	炭酸ガス(CO <sub>2</sub> )アーク溶接の際に発生する一酸化炭素(CO)の多量の吸入により一酸化炭素中毒を発生する。	全体換気装置による換気	×	△	III	△	○	①局所排気装置の設置 ②狭あい場所では風管換気方式による換気 ③電動ファン付き呼吸用保護具(フェースシールド形)の着用 ④送気マスクの着用	△	○	△	○	教育の徹底(COの有害性及び発生実態) 作業前ミーティングで措置の徹底を確認		
アーク溶接作業	有害光(紫外線、可視光線、赤外線)により眼障害となる。	溶接用遮光保護面を装着	△	△	II	△	○	①遮光度番号3以下の遮光めがね又は保護めがね(下めがね)を使用 ②遮光カーテン等により溶接作業場を仕切る。	○	○	○	○			
アーク溶接作業	スパッタ・スラッグの飛散により火傷する。	溶接用遮光保護面を着用し、眼及び皮膚の露出部をなくす。	△	○	I	△	○	溶接用かわ製保護手袋、保護帽、腕カバー、安全靴等適正な保護具を着用する。	△	○	△	○	保護具の使用の教育の徹底		
アーク溶接作業	周囲の可燃物(油、木くず、布等)にアーク溶接の火花が飛び火し、火災・爆発を起す。	可燃物を不燃性シートで覆い、近くに消火用機材を置く。	×	△	III	△	○	①作業周囲5mは、可燃物の一切を除去 ②高所作業の場合、階下にスパッタ等が落下しないように、不燃性のシートで防護する。 ③消火器、火災感知器等の設置	△	○	△	○	作業前ミーティングで都度措置の徹底を確認		
アーク溶接作業	溶接機の一次線が床を這って倒れて倒れる。	一次線は最小限の長さにする。	△	△	II	△	○	一次線をハンガーレールに架ける。	○	○	○	○			
アーク溶接作業	横倒しで設置しているシールト用ガスボンベにつまづいて転倒する。	ボンベは常に立てて置く。	△	△	II	△	○	ボンベを立てて製作し、倒れ止めチェーンをかけておく。	○	○	○	○			

リスクアセスメント実施一覧表（実施記載例）（アーク溶接作業1）

リスクアセスメント対象職場	①～⑥の実施担当者	④～⑥の実施担当者	⑦～⑧の実施担当者	実施日

社長(工場長)	製造部長	製造課の課長

災害の重篤度 ×=致命的・重大 △=中程度 ○=軽度  
優先度 III=直ちに解決すべき又は重大なリスクがある。 II=速やかにリスク低減措置を講ずる必要があるリスクがある。 I=必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスクがある。  
発生可能性 ×=頻繁・可能性が高いか比較的高い △=時々・可能性がある ○=ほとんどない・可能性がほとんどない  
※災害に至る経緯として「～なので、～して」「+」「～になる」と記述

